

# 第22回 奥羽大学公開講座 **ご案内**

総合テーマ

奥羽大学発 健康宣言2013



中央棟と第3講義棟(左)

**受講料無料**

**駐車場完備(無料)**

**事前お申込不要**

■開場 / 9:00 ■会場 / 奥羽大学第3講義棟321教室

	1時間目(9:30~10:30)	2時間目(10:45~11:45)
9月14日 (土)	<b>口や身体の中で使う代替材料って どんなものがあるの?</b> 歯学部教授:川島 功	<b>その日に帰れる 歯科治療のための全身麻酔</b> 歯学部准教授:川合 宏仁
9月21日 (土)	<b>ジェネリック医薬品ってなに?</b> -その安全性と経済性について- 薬学部教授:高橋 則男	<b>薬の正しい飲み方、 一緒に考えませんか?</b> 薬学部講師:真島 崇
9月28日 (土)	<b>ミクロの敵を見分けて 身体を守る免疫の仕組み</b> 薬学部教授:山下 俊之	<b>クスリと有機化学について</b> 薬学部准教授:山岸 丈洋
10月5日 (土)	<b>カエルの痛みとヒトの痛み、どこまで同じか</b> -カエルを使った痛覚研究最前線- 歯学部助教:古山 昭	<b>歯科インプラント治療を 上手に受けるために</b> 歯学部教授:山森 徹雄

[www.ohu-u.ac.jp](http://www.ohu-u.ac.jp)

お問合せ先

奥羽大学教務課 TEL.(024)932-8931(代)

奥羽大学までのアクセス、講座の詳細内容は裏面をご覧ください。

# 講座内容

9月14日(土)

## 口や身体の中で使う代替材料って どんなものがあるの？

歯学部教授 川島 功

健康的に毎日を送るための条件として自分の歯で噛めることが挙げられます。それで美しい笑顔になり、これが自信となり、豊かな人生へと導きます。自分の歯を大事にする方法から、不幸にして抜けた場合に代わりをどうするかまで、お話致します。歯の機能を回復するにはレジン詰めたり、金属を被せたり、あるいは顎骨に直接人工の歯をインプラントで固定します。さらに、身体全体で使う材料も説明する予定です。

## その日に帰れる 歯科治療のための全身麻酔

歯学部准教授 川合 宏仁

全身麻酔というと、怖いイメージや危険性という言葉が頭に浮かびます。しかしながら、全身麻酔に使われるお薬は年々進歩していて、最近では高い安全性が認められ、体内に残る量も少なくなっています。そのため、全身麻酔からの覚醒が早く、歯科や口腔外科領域の小さい手術では、手術終了から短時間で歩けるようになります。そこで、今回の公開講座では、当病院でいつも行っている日帰り全身麻酔についてご紹介したいと思います。

9月21日(土)

## ジェネリック医薬品ってなに？ —その安全性と経済性について—

薬学部教授 高橋 則男

「ジェネリック医薬品」という言葉を聞いたことがありますか。これは、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後に、同等品として販売される薬で、「後発医薬品」ともいわれます。すでに処方を受けて服用している、という方もおいでかと思いますが、両者の違いについてご存じでしょうか。ジェネリック医薬品が何か分からない方、ジェネリック医薬品のことをもっとよく知りたいという方のため、例を示しながらお話をしたいと思います。

## 薬の正しい飲み方、 一緒に考えませんか？

薬学部講師 真島 崇

お薬の中には1日に1回でいいものから3回飲まないといけないもの、食事の関係で飲む時間が決められているものなど、様々な飲み方があります。では実際、「なぜ、そのように飲まないといけないのか」と考えたことはありませんか？実はその「なぜ」の中に、お薬をしっかり効かせるために重要なことがたくさん含まれています。この機会に、お薬の正しい飲み方とその理由について一緒に考えてみませんか？

9月28日(土)

## ミクロの敵を見分けて 身体を守る免疫の仕組み

薬学部教授 山下 俊之

私たちの身体に備わっている免疫系は、ウイルスや細菌などの病原体にのみ存在する様々な成分を認識する受容体を用意して、これらミクロの敵を見分けて攻撃します。また、免疫系は私たちの身体のほぼ全ての細胞上に存在するHLAというタンパク質を自分の標識として用いています。「敵を知り己を知らば、百戦して危うからず」の格言のように、免疫系は敵を知り己を知ること、堅固な生体防御システムを作り上げているのです。

## クスリと有機化学について

薬学部准教授 山岸 丈洋

有機化合物は炭素を含む化合物と定義され、炭素を中心とした化学が有機化学です。われわれは日常生活のなかで多くの有機化合物を使っており、合成繊維、プラスチック、ガソリン、洗剤、食品などが代表例です。クスリの主成分、生命に不可欠である脂肪、糖、タンパク質、核酸も有機化合物です。本講座ではクスリに関連した有機化合物に着目し、性質、つくり方(合成法)などについてお話しします。

10月5日(土)

## カエルの痛みとヒトの痛み、どこまで同じか —カエルを使った痛覚研究最前線—

歯学部助教 古山 昭

トウガラシの辛味成分であるカプサイシンを皮膚に塗るとヒリヒリとし、ぬるいお湯でも熱く、ちょっとつついただけで痛く感じます。これはTRPV1というカプサイシン受容体蛋白質が皮膚にあるためです。実は、田んぼで鳴いているカエルもTRPV1受容体を持ちます。ヒトと同じように、カエルもカプサイシンにより痛みを感じ、痛覚過敏を起こしたりするのでしょうか。カエルとの比較から、ヒトの痛みの特徴について考えてみたいと思います。

## 歯科インプラント治療を 上手に受けるために

歯学部教授 山森 徹雄

近年、失った歯の治療法として歯科インプラントが選択されることが多くなり、一方では、これに伴うトラブルも増加しています。義歯やブリッジに比べ、歯科インプラントは歴史が浅いため治療方法の特性が理解されていないこと、歯科医師の説明不足などがトラブルの原因の多くを占めると考えられます。本講座では、利点、欠点を含めた特性を説明し、歯科インプラント治療によって快適な生活を回復するためのポイントを整理します。

